

令和3年度 予算(案)の新規事業

新型コロナウイルス感染症により、行政のサービスの変更やイベントの中止など、令和2年度は予算執行への影響が色濃くでた年度でした。

令和3年度は、その影響を考慮しつつ、市民生活が以前のように回復し向上する意図を持って予算の構築が図られなければなりません。

新年度予算(案)が提出されましたので、新たな総合計画である「第6次寝屋川市総合計画」の施策体系にそって、新たな事業・サービス(抜粋)をご報告いたします。

—— 訴求力のある施策 ——

■ ファクターI 子どもに最善を尽くす

【施策1】 安心して子どもを産み、育てる環境づくり

○産後うつや育児不安の解消を図るため、地域の助産師と子育て世代包括支援センターが連携し、訪問での指導やSNSでの相談などを行う。 419万円

○多胎妊婦や多胎児を持つ家庭の負担感を軽減するため、助産師の訪問指導の回数を増やすとともに、タクシー券(年2万円)を交付する。 239万円

○離婚後に養育費の支払いや面会交流が継続されるよう相談・支援を行う。具体的には、離婚前の公正証書の作成、裁判の費用などに要する費用を、上限4万円まで補助を行う。 124万円

○就学前教育の充実のため、令和3年4月以降に生まれた子どもに対し、一人4冊の絵本を贈る。対象となる本は0歳～3歳児を対象としたもので、4ヶ月健診時にカタログを渡す。 1,506万円

【施策2】 寝屋川市だから学べる「寝屋川教育」

○令和5年度の完成を目指し、総事業費約84億円をもって第4中学校区の施設一体型小中一貫校の建設に取りかかる。 10億9483万円

○中学生の部活動の選択肢を増やす。その手段として、柔道部と剣道部の拠点校をそれぞれ1校設置することによって、在籍校にない中学生の活動の場とする。その際の指導員を新たに派遣する。 254万円

○給食調理場の経年劣化に対応する必要性と、中学校給食の民間委託の契約更新時期を見据え、温かくおいしい給食の向上をこの機に図る、具体的には、親子給食調理場増改築(5校)とミニ給食センター(1校)の建設をするため、設計委託事業者を決定する。 8994万円

【施策3】 子どもを全力で守り抜く

○いじめの被害者が転校をせざるを得なくなった場合、その費用等の支援を行う。1件あたり上限15万円

■ ファクターII 誰もが住みたくなるまちをつくる

【施策4】 ポテンシャルをフル活用した都市整備基盤

○既存住宅の建て替え促進や新築住宅の増加の観点から、3年以内に新築・改築された建築物の中から居住環境の良好な住宅を優良建築物として表彰する。 52万円

○70歳以上、妊婦、身体障害者等の公共交通の利用促進を図る。そのため、バスを現金100円(障害者は50円)で乗車できるよう、130円を補助する利用券を配布する。(ただし、230円区間) 3,320万円

【施策5】 将来を見据えた公共施設の集約・複合化

○現在閉館となっている総合センターの解体工事を令和3年度から5年度にかけて進める。総費用は約13億6443万円。令和3年度には、周辺家屋の調査、残置物の処分、解体除去工事などが行われる予定。
1億5833万円

○大阪電気通信大学駅前キャンパス（アルカスの横）を購入することで、市民サービスのターミナル化の推進を図る。まずは、建物と土地の価格を確認するために、不動産鑑定をする費用が新年度は計上。
128万円

【施策6】 働く場の創出と多様な人材の育成・確保

○新型コロナウイルス感染症による市内事業者の影響など経営実態を把握するための調査を行う。
330万円

○萱島地区の商業と地域全体の活性化を図るため、検討会を設置する。フィールドワークやアンケートなどを実施し、空き店舗への魅力ある事業者の誘致に向けたあり方などを検討する。
157万円

○災害発生時の被害を未然に防ぐことと、農業用水の安定確保のため、ため池、農業用水路、農道の改修を補助する。
150万円

■ ファクターⅢ 命を全力で守り、豊かなくらしを実現する

【施策7】 災害から命を守るための施策

○（仮称）災害備蓄センターの備蓄品を、国の保管システムを活用することで管理が一元化できるよう、小中学校の避難所に専用の端末を整備する。
188万円

○密集住宅地区の老朽建築物の除却を促進するため、これまでの補助対象であった老朽化した木造集合住宅に加え、老朽化した戸建て住宅も対象とする。

○水路の水位を把握するため民間企業の技術を活用して取り組む実証実験を断念した経緯がある。新年度は手法を変更することで改めて実証実験に取り組む。
30万円

【施策8】 防犯力向上による体感治安の改善

○犯罪認知件数の減少と体感治安の向上のため、本年度、犯罪学研究センターにおいて調査・研究を行っており、その報告書をもとに効果的な防犯施策の立案・実施につなげる。それに加え、新年度は体感治安に関するアンケートの実施とその研究などに取り組む。
67万円

○特殊詐欺被害を減らすため、これまでに特殊詐欺に関する相談をしたことのある世帯を対象として、自動通話録音器を貸し出す。実際に被害に遭った世帯に対しては、寝屋川警察署が貸与している。
221万円

【施策9】 健康寿命の延伸

○75歳以上の高齢者で、健康状態不明者、治療中断者、フレイルのおそれのある方を対象に、重症化予防のための個別支援を行う。具体的には、保健師や管理栄養士等が訪問、面談、電話などで指導助言する。

生活を支える施策

【施策10】 人権を尊重し、多様性を認め合う社会

○全ての世代が、あらゆる人権問題や平和についての理解を深めるため「いじめ問題シンポジウム」を開催する。
362万円

【施策11】 誰もが安心して生活でき、共に支え合う

○短期集中通所サービス等の利用によって生活機能が向上し、介護サービスが不要になった高齢者を対象に、その後のフォローを行う。
660万円

○認知症カフェに補助を行うことで、認知症ケアを総合的・継続的に推進する環境を整える。
1497万円

【施策12】 衛生的で快適な生活の確保

○おたふくかぜワクチンの接種費用を助成。1歳から就学前が対象。上限3,500円 275万円

【施策13】 環境を守り、日頃のくらしを良好に

○環境教育として取り組んでいる小中学校での雑紙回収に対し、回収袋を配布する。

○クリーンセンター内の旧焼却場解体工事を進めるとともに、解体後の跡地に資源物等のストックヤードを整備する。 5億7,226万円

—— くらしの質を高める施策 ——

【施策14】 学びによる市民文化の向上と発展

なし

【施策15】 豊かな自然があるくらし

○打上川治水緑地の利用促進に向け、ドッグランやバーベキュー広場などを整備する。また、委託事業者を選定し、2年をかけてパークマネジメントの導入に取り組む。 1,318万円

【施策16】 地域づくり・きずなづくり

○市制施行70周年の記念式典を実施する。 174万円

【施策17】 市民ニーズを捉えた行政サービスの充実

○マイナンバーカードの普及促進のため、各シティ・ステーションでも申請の補助を行うことや、商業施設等での出張受付を実施する。 1億6,403万円

【施策18】 市民ニーズの把握・情報発信力の強化

○転入直後の市民の声を把握するため、特定の20人を対象とし、年3回、メールでのアンケート調査を行う。また、行政サービスについての市民の疑問に答えるため、(仮称)みんなの声掲示板を開設する。 508万円

○ホームページをリニューアルすることで、検索性や利便性を向上させる。 2,971万円

【施策19】 未来へつなぐ行財政運営

○AI-OCRやRPAを4つの事務(徴収部門、国保部門、留守家庭児童会)に導入することで定型業務を自動化し、業務の効率化を図る。 276万円

○本年度の10月から試行実施を行っていた自治体専用のビジネスチャットを本格導入する。これまでの電話やメールからチャットに変更することで、情報共有の即時性を高める。 554万円

○税や各種保険料の催告において、SMSを活用する。 301万円

新年度予算案には、今後、支出が相当大きくなっていくことが想定される要因が含まれています。すでに事業化されているものもありますが、事業規模の大きいものを羅列してみました。(順不同)

- ・小中一貫校
- ・学校給食調理場
- ・寝屋二丁目・寝屋川公園地区土地区画整理
- ・寝屋川公園駅西側広場整備事業
- ・寝屋川市駅周辺地区都市再生整備事業
- ・大阪電気通信大学駅前キャンパスの購入
- ・新中央図書館・こども図書館整備
- ・古川雨水幹線バイパス管工事
- ・刘馬江大和線事業
- ・京阪本線連続立体交差事業
- ・公共施設の長寿命化
- など

以上のように、土木・建築系の肥大化が懸念されます。

額の未確定のもの、事業の予算化がされていないものも含まれることから、予算審議による判断が重要視されます。